

ヨーネ病 とは

1 原因(病原体)

ヨーネ菌(*Mycobacterium avium*
subsp. *paratuberculosis*)

2 感受性動物

牛、めん羊、山羊、水牛、鹿



【下痢により消瘦した牛】

(出典:動物衛生研究部門)

3 症状等

ヨーネ菌の経口感染により、長い潜伏期間の後に発症し、慢性の下痢、消瘦、泌乳量の低下がみられる。

4 発生状況

(1)国内(牛):

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
戸数	315	374	321	380	399	446	519	471
頭数	624	817	831	1,066	809	957	1,147	1,060

	令和6年
戸数	525
頭数	1,198

(2)海外:世界各国で発生がある。

5 診断法

(1)遺伝子検査による糞便からのヨーネ菌遺伝子の検出

(2)糞便からのヨーネ菌の検出(直接鏡検、分離培養)。

(3)血清学的検査による抗体の検出。

6 予防・治療

実用的なワクチンはなく、治療も困難。このため、本病の対策としては、家畜伝染病予防法に基づき、定期的な検査による感染牛の殺処分などを行っている。

7 その他

家畜伝染病予防法に基づく法定伝染病であり、患畜と診断された家畜は、まん延防止のため都道府県知事により殺処分が命じられる。